

平成 21 年度市民満足度調査結果の概要について

○ 「市民満足度調査」実施要領

- (1) 目 的 小矢部市に住んでいる市民が、市政の現状について、どのような満足感を持っているかを把握することにより、市民のニーズに対応した市政運営を目指す。
- (2) 対 象 者 満 20 歳以上の市民から無作為抽出した 1,400 人
(回収人数は 732 人、回収率は 52.3%)
- (3) 調査基準日 平成 21 年 10 月 1 日
- (4) 配布方法 アンケート用紙を郵送により配布する。
- (5) 回答期限 平成 21 年 10 月 18 日
- (6) 調査項目 第 6 次小矢部市総合計画に基づき、各種政策の満足度及び重要度並びに小矢部市に対する総合的な満足度等を調査する。
- (7) 活用方法 市民の満足度を評価指標として、第 6 次小矢部市総合計画に掲げた政策に対する市民の満足度を把握し、今後の市政運営に役立てる。
- (8) 結果の公表 小矢部市ホームページにて公表する。
- (9) 担 当 課 小矢部市企画室企画政策課

○ 回答者の内訳

問 1 性別

| | 発送数 A | 該当者数 B | 構成比(%) | 返答率 B/A |
|-----|----------|-----------|--------|------------|
| 男 | 667 | 303 | 41.4 | 45.4 |
| 女 | 733 | 405 | 55.3 | 55.3 |
| 無回答 | — | 24 | 3.3 | — |
| 総数 | 1,400 | 732 | 100.0 | 52.3 |

問 5 居住年数

| | 該当者数 | 構成比(%) |
|----------|------|--------|
| 1年未満 | 11 | 1.5 |
| 1～5年未満 | 15 | 2.1 |
| 5～10年未満 | 18 | 2.5 |
| 10～15年未満 | 22 | 3.0 |
| 15～20年未満 | 34 | 4.6 |
| 20年以上 | 629 | 85.9 |
| 無回答 | 3 | 0.4 |
| 総数 | 732 | 100.0 |

問 2 年齢

| | 発送数 A | 該当者数 B | 構成比(%) | 返答率 B/A |
|-------|----------|-----------|--------|------------|
| 20歳代 | 174 | 62 | 8.5 | 35.6 |
| 30歳代 | 201 | 94 | 12.8 | 46.8 |
| 40歳代 | 206 | 110 | 15.0 | 53.4 |
| 50歳代 | 264 | 157 | 21.5 | 59.5 |
| 60歳代 | 243 | 136 | 18.6 | 56.0 |
| 70歳以上 | 312 | 169 | 23.1 | 54.2 |
| 無回答 | — | 4 | 0.5 | — |
| 総数 | 1,400 | 732 | 100.0 | 52.3 |

問 3 職業

| | 該当者数 | 構成比(%) |
|--------------|------|--------|
| 農林水産業 | 22 | 3.0 |
| 自営業(商工サービス業) | 54 | 7.4 |
| 会社員・団体職員・公務員 | 273 | 37.3 |
| パート・アルバイト | 72 | 9.8 |
| 主婦 | 95 | 13.0 |
| 学生 | 15 | 2.1 |
| 無職 | 170 | 23.2 |
| その他 | 30 | 4.1 |
| 無回答 | 1 | 0.1 |
| 総数 | 732 | 100.0 |

問 6 居住地区

| | 発送数 A | 該当者数 B | 構成比(%) | 返答率 B/A |
|-------|----------|-----------|--------|------------|
| 石動地区 | 304 | 170 | 23.2 | 55.9 |
| 南谷地区 | 45 | 18 | 2.5 | 40.0 |
| 埴生地区 | 182 | 93 | 12.7 | 51.1 |
| 松沢地区 | 122 | 56 | 7.7 | 45.9 |
| 正得地区 | 63 | 28 | 3.8 | 44.4 |
| 荒川地区 | 88 | 40 | 5.5 | 45.5 |
| 子撫地区 | 53 | 32 | 4.4 | 60.4 |
| 宮島地区 | 26 | 14 | 1.9 | 53.8 |
| 北蟹谷地区 | 65 | 36 | 4.9 | 55.4 |
| 若林地区 | 69 | 40 | 5.5 | 58.0 |
| 津沢地区 | 141 | 66 | 9.0 | 46.8 |
| 水島地区 | 87 | 41 | 5.6 | 47.1 |
| 藪波地区 | 90 | 58 | 7.9 | 64.4 |
| 東蟹谷地区 | 65 | 37 | 5.0 | 56.9 |
| 無回答 | — | 3 | 0.4 | — |
| 総数 | 1,400 | 732 | 100.0 | 52.3 |

問 4 家族構成

| | 該当者数 | 構成比(%) |
|--------------|------|--------|
| 一人暮らし | 35 | 4.8 |
| 夫婦のみ | 95 | 13.0 |
| 親と子(二世帯同居) | 306 | 41.8 |
| 親と子と孫(三世帯同居) | 230 | 31.4 |
| その他 | 59 | 8.1 |
| 無回答 | 7 | 0.9 |
| 総数 | 732 | 100.0 |

○ 第6次総合計画に掲げた政策ごとの満足度等について

| | | 「満足度」が高い政策 | 回答割合 (%) |
|----------------|----|---------------|----------|
| 上位 10 政策 | 1 | 地球温暖化防止の環境づくり | 47.0 |
| | 2 | 健康づくりの推進 | 41.4 |
| | 3 | 親雪・克雪の推進 | 41.1 |
| | 4 | 消防・救急体制の充実 | 36.8 |
| | 5 | 生活環境の整備 | 36.6 |
| | 6 | 交通安全対策の充実 | 34.7 |
| | 7 | 生涯学習の推進 | 32.4 |
| | 7 | 生涯スポーツの促進 | 32.4 |
| | 9 | 就学前教育の充実 | 28.8 |
| | 10 | 犯罪のないまちづくりの推進 | 28.0 |

| | | 「不満足度」が高い政策 | 回答割合 (%) |
|----------------|----|-------------|----------|
| 上位 10 政策 | 1 | 雇用の安定 | 44.0 |
| | 2 | 企業立地の促進 | 38.4 |
| | 3 | 魅力ある市街地等の形成 | 36.9 |
| | 4 | 観光の振興 | 35.3 |
| | 5 | 地域医療体制の確立 | 33.8 |
| | 6 | 児童福祉の充実 | 29.9 |
| | 7 | 道路ネットワークの充実 | 29.8 |
| | 8 | 高齢者福祉の充実 | 28.1 |
| | 9 | 交通体系の充実 | 28.0 |
| | 10 | 地域産業の振興 | 27.9 |

| | | 「重要度」が高い政策 | 回答割合 (%) |
|----------------|----|---------------|----------|
| 上位 10 政策 | 1 | 地域医療体制の確立 | 77.3 |
| | 2 | 親雪・克雪の推進 | 75.1 |
| | 3 | 地球温暖化防止の環境づくり | 74.8 |
| | 4 | 犯罪のないまちづくりの推進 | 74.4 |
| | 5 | 高齢者福祉の充実 | 74.2 |
| | 6 | 児童福祉の充実 | 74.0 |
| | 7 | 消防・救急体制の充実 | 72.5 |
| | 8 | 健康づくりの推進 | 72.0 |
| | 9 | 雇用の安定 | 69.8 |
| | 10 | 交通安全対策の充実 | 67.2 |

| | | 人口増対策として充実してほしい施策 | 回答率 (%) |
|---|------------------|-------------------|---------|
| 1 | 子どもを生き育てやすい環境づくり | 61.9 | |
| 2 | 企業誘致の推進 | 55.6 | |
| 3 | Uターン希望者等への就労支援 | 46.4 | |
| 4 | 魅力に関する情報発信 | 27.0 | |
| 5 | 新規住宅取得者への助成 | 23.4 | |
| 6 | 空き家を活用した定住促進 | 23.0 | |
| 7 | 男女の出会い創出事業への支援 | 15.3 | |
| 8 | 市営賃貸住宅の充実 | 8.1 | |
| 9 | 賃貸住宅入居者への家賃助成 | 7.0 | |
| 9 | 都市住民との地域間交流の推進 | 7.0 | |

○ 満足度が高い政策について

- ・ 満足度が高い政策には、「地球温暖化防止の環境づくり」、「健康づくりの推進」、「親雪・克雪の推進」など市民生活と密接に関係している政策が多い。
- ・ 小矢部市に対する総合的な満足度を年齢別にみると、50歳代の満足度が最も低い。

○ 不満足度が高い政策について

- ・ 不満足度の上位を占めた2政策は、「雇用の安定」と「企業立地の促進」であり、地域産業に関する政策に対して不満足度が高い。

○ 重要度の高い政策について

- ・ 不満足度が高い政策のうち「地域医療体制の確立」については、重要度の回答割合が最も高いことから、市民の関心が高い。

○ 人口増対策について

- ・ 人口増対策で充実してほしい施策としては、「子どもを生き育てやすい環境づくり」や「企業誘致の推進」と回答している人が50%を超えている。
- ・ 20歳代と30歳代の若い世代では、子育て支援や定住促進に関する施策の充実を求めている。

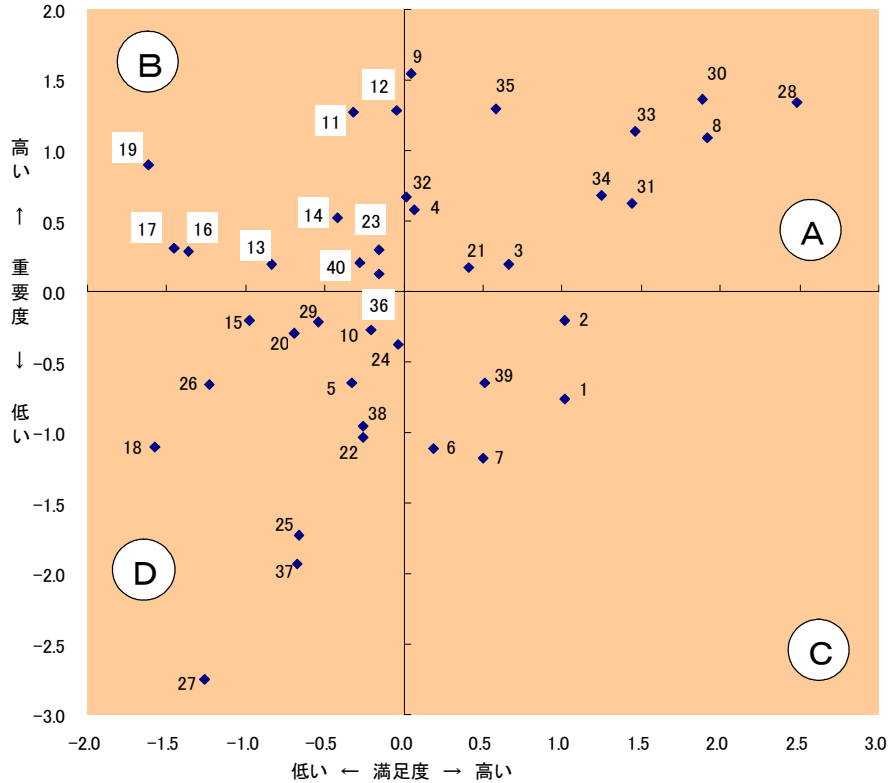
○ 調査結果からみえた課題

- ・ 小矢部市が最優先に取り組むべき課題は、地域産業の振興に関する政策、子育て環境の充実など福祉に関する政策、そして市民協働の推進と効率的な行財政経営に関する政策であることがうかがえる。

○ 政策ごとにみる「重要度」と「満足度」との関係

重要度と満足度のそれぞれについて、平均値(0.0)からのばらつきを指数化し、重要度と満足度との関係を4分類化したのが図1である。

図1 「重要度」と「満足度」の関係



「(A) 重要度、満足度とも高い政策」

- | | | |
|------------------|-------------|----------------|
| 28 地球温暖化防止の環境づくり | 30 親雪・克雪の推進 | 8 健康づくりの推進 |
| 33 消防・救急体制の充実 | 31 生活環境の整備 | 34 交通安全対策の充実 |
| 35 犯罪のないまちづくりの推進 | 9 地域医療体制の確立 | 3 就学前教育の充実 |
| 32 防災・危機管理体制の充実 | 4 学校教育の充実 | 21 道路ネットワークの充実 |

「(B) 重要度が高く、満足度が低い政策」

- | | | |
|-----------------|-------------|----------------|
| 19 雇用の安定 | 17 企業立地の推進 | 16 地域産業の振興 |
| 12 高齢者福祉の充実 | 11 児童福祉の充実 | 13 障害者福祉の充実 |
| 14 社会保障の充実 | 23 住宅・宅地の充実 | 40 新しい自治体経営の確立 |
| 36 市民と行政との協働の推進 | | |

「(C) 重要度が低く、満足度が高い政策」

- | | | |
|------------------|------------|--------------|
| 2 生涯スポーツの促進 | 1 生涯学習の推進 | 39 開かれた市政の推進 |
| 7 歴史遺産と文化財の保存と活用 | 6 芸術・文化の振興 | |

「(D) 重要度、満足度とも低い政策」

- | | | |
|----------------|----------------|----------------|
| 27 地域間・国際交流の推進 | 37 男女共同参画社会の推進 | 25 地域情報化の推進 |
| 18 商業の振興 | 22 公園・緑地の充実 | 38 人権の尊重、 |
| 26 観光の振興 | 5 青少年の健全育成 | 20 魅力ある市街地等の形成 |
| 15 農業・農村の振興 | 29 豊かな森の保全・活用 | 24 交通体系の充実 |
| 10 地域ぐるみ福祉の推進 | | |

○ 小矢部市に対する総合的な「満足度」

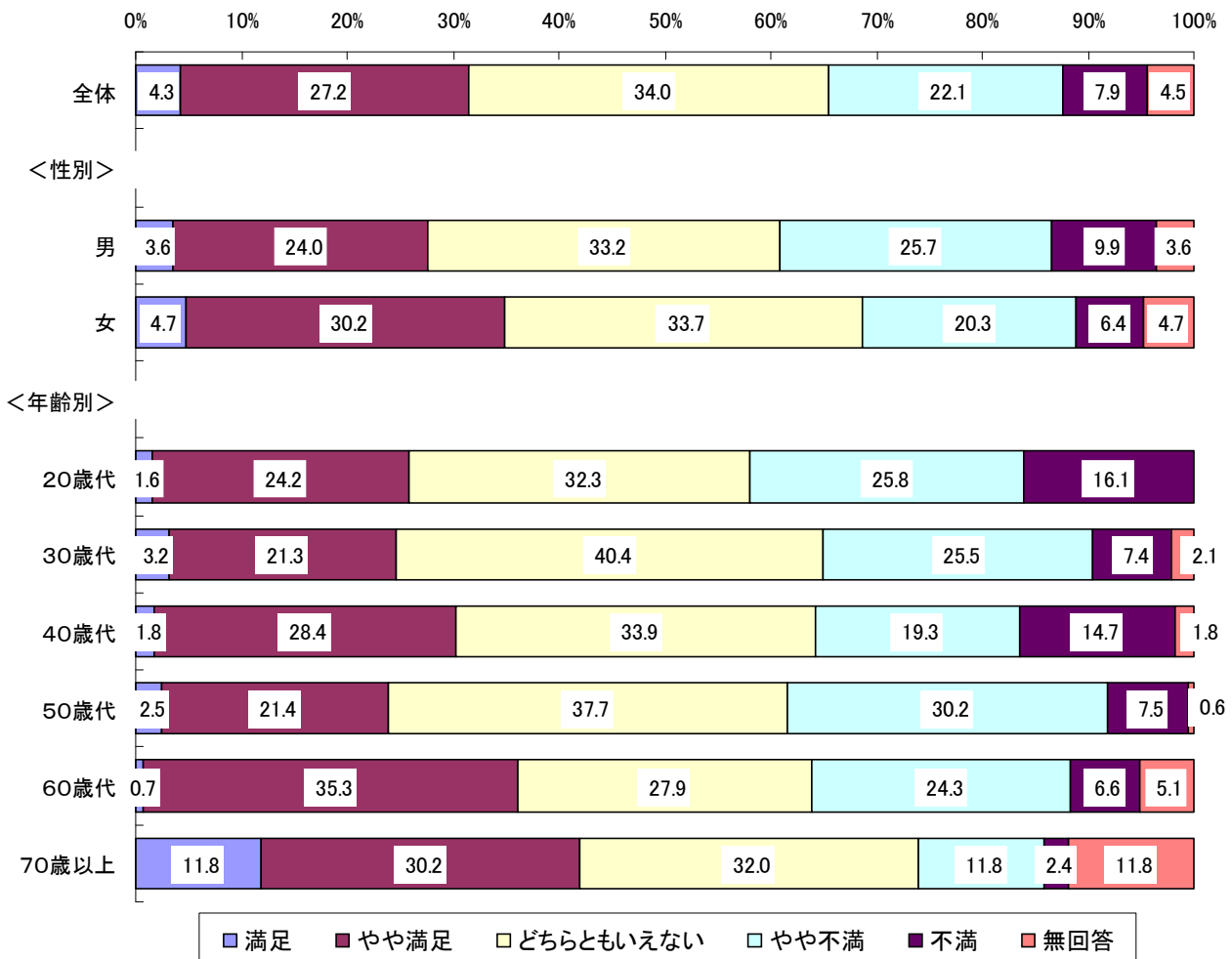
現状の小矢部市に対する総合的な満足度について聞いた。

全体で見ると、「満足」と「やや満足」の合計比率は31.5%であり、「不満」と「やや不満」の合計比率は30.0%である。小矢部市に対する総合的な評価は、満足度と不満足度がほぼ同率となっている。

性別にみると、男性の満足度が27.6%であるのに対し、女性の満足度は34.9%であり男性より高い。

年齢別にみると、若い世代では20歳代25.8%、30歳代24.5%と満足度が低く、年齢が高い世代では60歳代36.0%、70歳以上42.0%と満足度が高くなっている。50歳代では23.9%と年齢別の中で満足度が最も低い。

図2 小矢部市に対する総合的な「満足度」

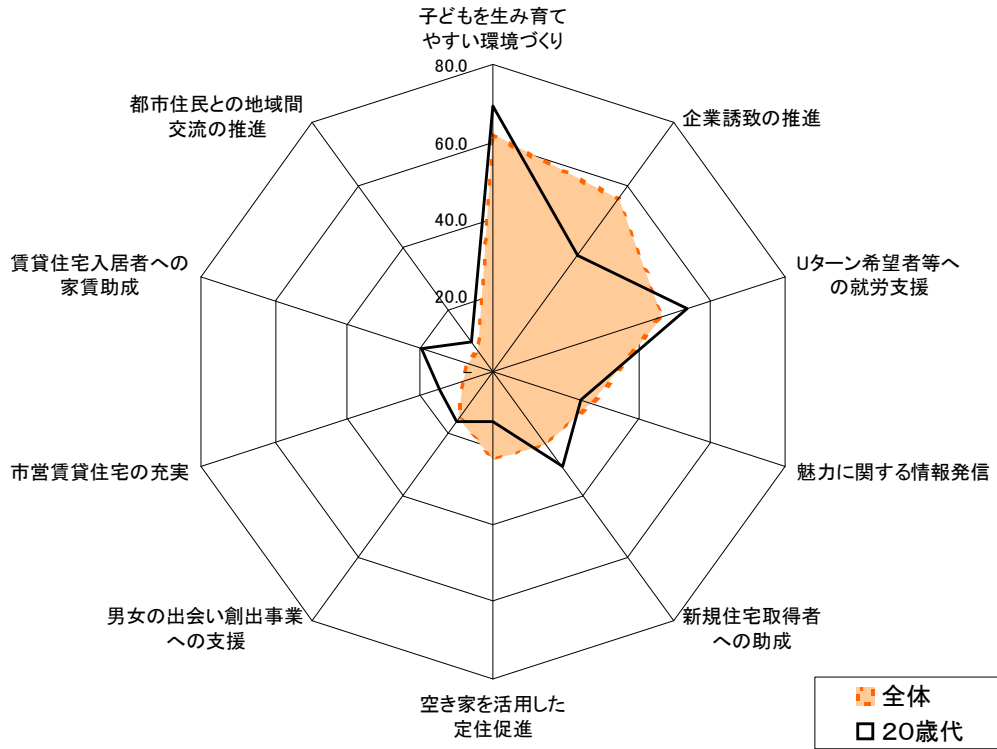


○ 20 歳代及び 30 歳代にみる人口増対策

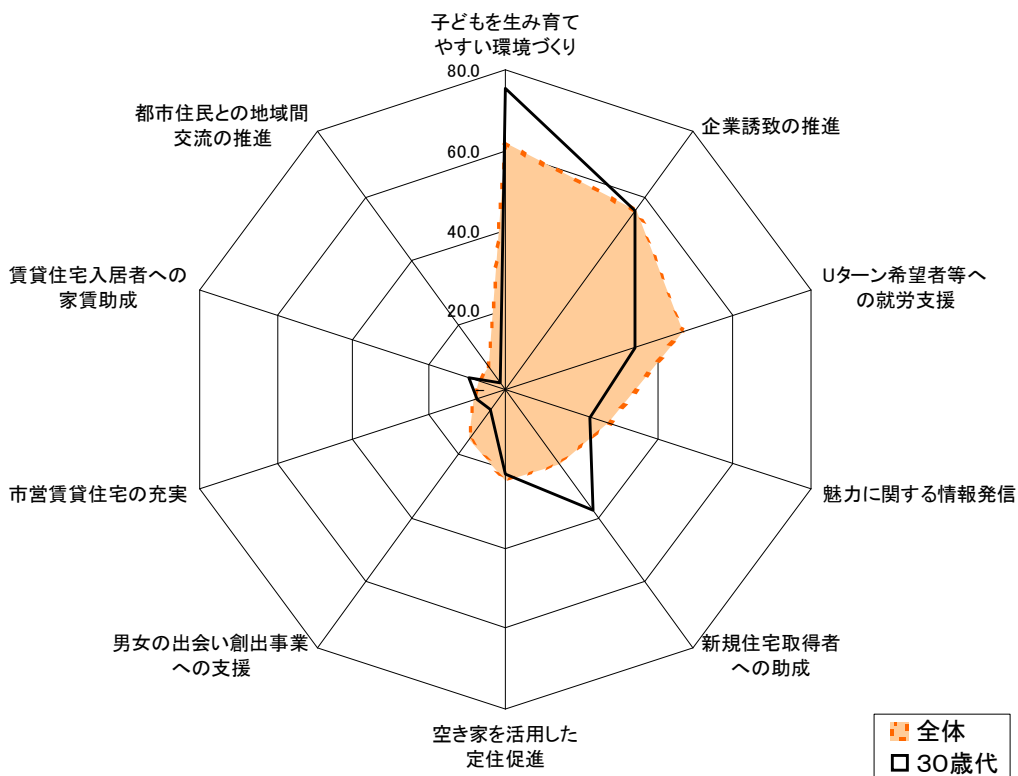
全体の回答率を基準として、20 歳代及び 30 歳代の回答率と比較したのが図 3 である。

図 3 20 歳代と 30 歳代にみる実施してほしい人口増対策

<20 歳代と全体との比較>



<30 歳代と全体との比較>

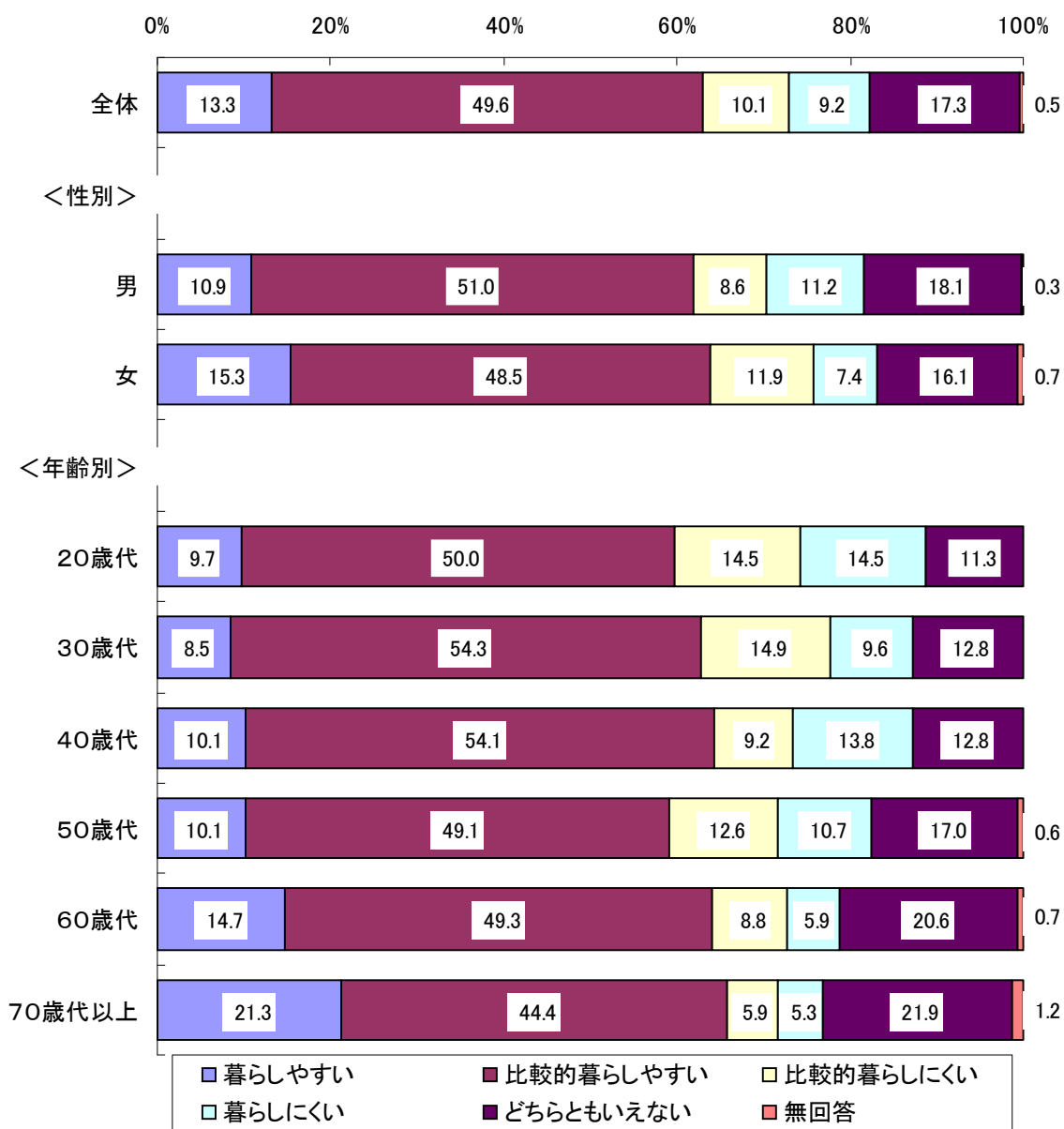


○ 小矢部市の暮らしやすさについて

全体でみると、「暮らしやすい」と「比較的暮らしやすい」の合計比率は 62.9%であり、肯定的な意見が6割を超えた。

性別及び年齢別にみると、「暮らしやすい」と「比較的暮らしやすい」の合計比率について、大きな違いはみられない。ただし、20歳代では29.0%の人が「暮らしにくい」又は「比較的暮らしにくい」と回答している。

図4 小矢部市における暮らしやすさについて



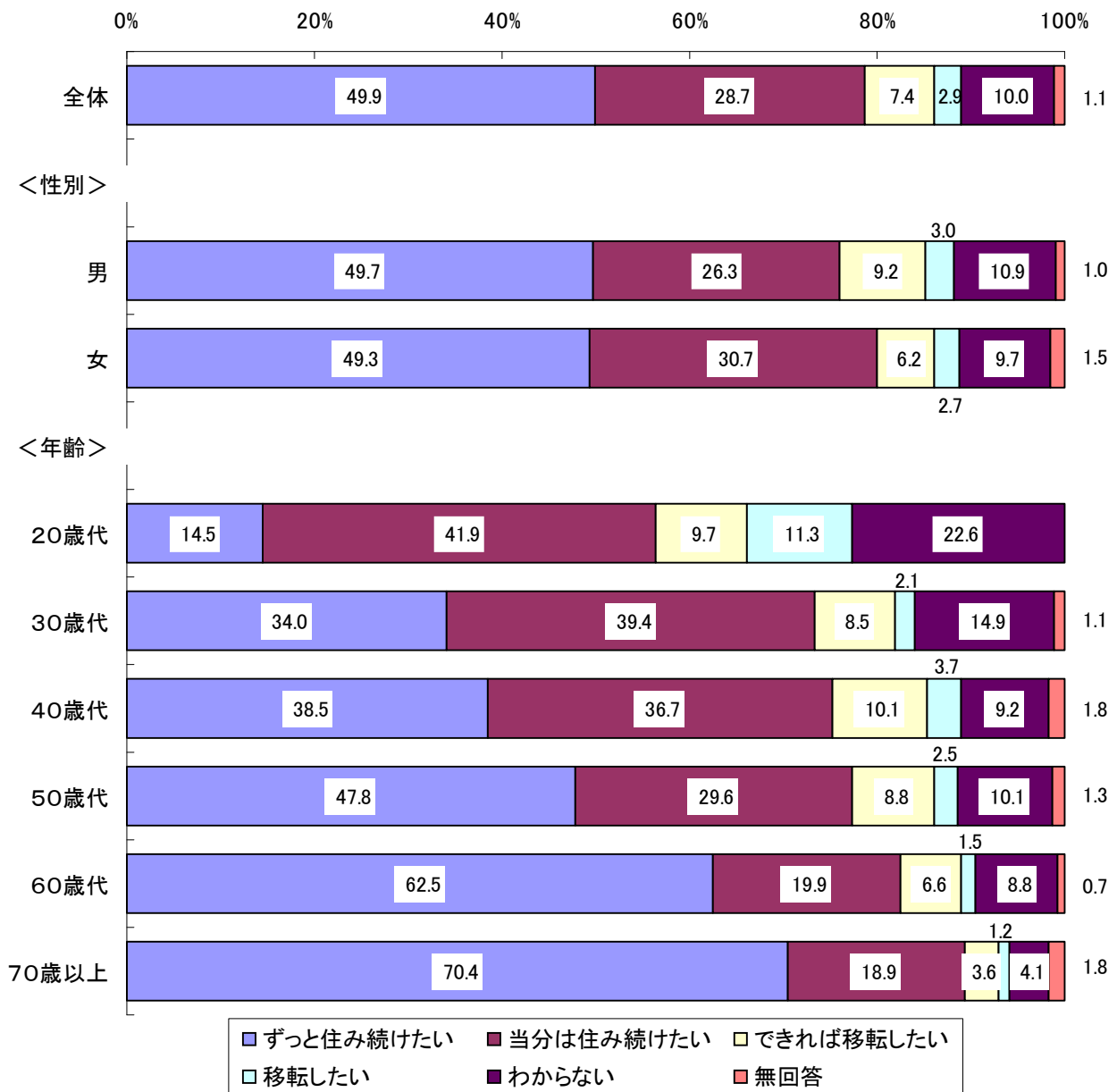
○ 小矢部市での今後の居住について

全体でみると「住み続けたい」と「当分は住み続けたい」の合計比率は78.6%であり、肯定的な意見が7割を超える。

今後の居住について、性別による大きな違いは見られない。

年齢別にみると、「住み続けたい」と「当分は住み続けたい」の合計比率は、70歳以上では89.3%と最も高く、次いで60歳代が82.4%、50歳代が77.4%と年齢が若くなるにつれ低下し、20歳代では56.4%となっている。

図5 小矢部市での今後の居住について



○ 自由意見

市に対して301件の意見・要望をいただいた。特に多かった意見としては、企業等の誘致に関する意見、若者の雇用創出に関する意見、医療施設の充実に関する意見などであった。以下は、それらの項目ごとに無作為に抽出した意見（原文）である。

| | | 企業及び商業施設の誘致 |
|---|-------|---|
| 男 | 40歳代 | 市の発展には、積極的な企業誘致が必要です。企業誘致が進めば、法人税収並びに昼間人口の増加に伴う消費の拡大、ひいては動態人口の増加につながります。固定資産税の免除や諸処置により企業誘致のさらなる強化を望みます。 |
| 男 | 30歳代 | 市の発展の為に、企業が来やすい環境をつくる。 |
| 女 | 30歳代 | 企業誘致等をし、働ける場を多くし、安定して雇用をつくってほしい。 |
| 男 | 40歳代 | 砺波小矢部ジャンクションのある立地条件をうまく活用し、企業誘致に力を入れてほしい。また、関西地方、東海地方、能登方面からの地理的条件を活かし、観光客を相手にする施設を充実してほしい。 |
| 男 | 20歳代 | 漫画喫茶やゲームセンターやバッティングセンターなどといった遊ぶ場所を提供してほしい。大型ショッピングモールを建ててほしい。市が発展するような対策をたててほしい。 |
| 女 | 40歳代 | スポーツ施設、レジャー施設の充実。若者の健全な遊び場がないのでつくってほしい。レストランや喫茶店ひとつとっても他の市へ流れてしまう。 |
| 女 | 40歳代 | インターの近くにアウトレットモールを誘致されてはいかがですか？北陸地区には無いので…。企業誘致と就労支援と他県からの観光客と…。 |
| | | 若者の雇用創出 |
| 女 | 50歳代 | 若い人が小矢部市へ来て住み続けるには、安定した雇用がないと生活できません。しっかりした企業の誘致をぜひ推進して下さい。また、せっかく桜町遺跡があるので観光バスが立ち寄るような観光施設にして下さい。 |
| 女 | 70歳以上 | 働く場所のない市では活気がなく、若い人が元気のある市になるにはどうすればいいのか、元気のある市にするにはどうすればいいのか、もっと真剣な話を重ねて若者がもどり易い市にしていきたい。 |
| 女 | 20歳代 | 若い人が働きやすい環境をつくってほしい。 |
| 女 | 70歳以上 | 若い人達の仕事、働く職場が少ないと思います。心配です。 |
| 男 | 70歳以上 | 高齢化を見すえた将来像を明確に示す市政が望まれる。高齢世帯の増加による生活環境の停滞は、地域社会の破滅につながるものと受け止め、後継者のUターンを積極的に進めることが重要ではないでしょうか？ |
| | | 人口増対策 |
| 女 | 40歳代 | 小矢部市は他市と比べて土地が高いので、若い人は土地の安い所を求めて他市へ移転しています。もう少し建物を建てやすい環境にしてほしいです。ますます人口が減っていきます。他市と比べてみて下さい。 |
| 女 | 60歳代 | 住めば都といいますが長く居住していますとそれなりに住めるものです。人口増について自然増も意味がありますが、何よりも県外及び他市町村からの移住を切に望みます。それには、公共料金、税等の深い考察を願っています。 |
| 女 | 50歳代 | 子供を見かけなくなりました。これは本当に大変な事だと思います。若い人達が都会に住み年寄りばかりです。あと数10年で空家だらけになってしまいます。もっと若者がとどまれる地域にして下さい。 |
| 男 | 60歳代 | 人口増対策では長期的な自然増対策の取り組みは理解出来るが、早急に成果を上げるには社会増対策が必要であり、とりわけ工業出荷額を他の市町村レベル迄引き上げる必要があります。その為には核となる中核の企業誘致が重要で他市との競争に勝てる大胆な政策と誘致努力が最重要課題です。人口増（社会減の歯止め）で活力ある町作りを！ |
| | | 医療施設の充実 |
| 女 | 50歳代 | 医療の充実を願う（総合病院・小児科）。 |
| 女 | 30歳代 | 出産したい時に近くに病院が少ない。 |
| 女 | 30歳代 | 病院施設の充実（特に産婦人科）を希望します。 |
| 女 | 20歳代 | 小矢部には出産できる病院がないので産婦人科が必要です。 |
| | | 子どもを生き育てやすい環境 |
| 女 | 20歳代 | 子どもに対しては医療費無料化などは良いと思いますが、これから子どもを産む人は、どこで子どもを産んだら良いのでしょうか？小矢部市でも産婦人科は必要だと思います。誰もが快適に過ごせる小矢部市を目指してほしいと思います。 |

| | | |
|------------------|-------|--|
| 男 | 40歳代 | 子どもを生み育てやすい市になるように健康・福祉・教育に力を入れてほしい。 |
| 女 | 30歳代 | 子供を育てやすい環境（病院・保育・学校）にしていきたいと思います。あと農業を個人でも続けていけるよう支援をお願いします。 |
| 女 | 40歳代 | 子供の教育に関して、小矢部市は保育所が十分に整備されていてとても恵まれている。一方、ほとんどの子どもが保育所から小学校に入学するため、福祉と教育のたて割り行政の弊害が、保⇄小の連携が生かされていない現状があるように思う。子どもに関する行政の連携を進めてほしいと願う。 |
| 公共交通機関の充実 | | |
| 女 | 40歳代 | 石動駅への公共交通機関の充実を希望します。 |
| 女 | 70歳以上 | 市営乗合バスをもっとみじかに（近くに）細く廻る様にしないと、80才、90才の方は歩行しにくいから（特に散居村の村へ）。 |
| 女 | 60歳代 | 市営バスの事についてお願いしたい事。1. 年寄りでも乗り降りしやすいバスにしてほしい。2. 行きも帰りも同じ本数があれば利用するのに本当に助かります。外出しても帰りのバスがないため、いつも帰りはタクシーを利用しています。 |
| 女 | 20歳代 | 市バスの利用状況が心配です。祖母の大事な足なのでもっと活用して存続して欲しいと思います。また、もっと広く細かい範囲で乗れるようになると助かり、学生さんなども利用してくれるのではないのでしょうか。 |
| 女 | 70歳以上 | 高齢者のために市営バスをもっと増やしてほしいです。 |
| 情報発信 | | |
| 女 | 50歳代 | 小矢部市の良いところ探しを募集してランキングにするとか。現在のふるさと再発見ツアーもすばらしいのですが、それを他市町村、県外へどんどんPRする。市役所のHPにのせるなり、観光課の方とかブログのようにどんどん写真や文章を柔らかく、親しみやすくしてPRする（小矢部市へ行ってみたいと思うファンづくり）。中高年もインターネットで検索する時代なので、どんどんネットに公開して小矢部市の事を知ってもらいたい。 |
| 女 | 30歳代 | 小矢部市は市民にとって大変住みやすい環境だが、その素晴らしさをPRする力がない。他市のようにもっと積極的にPRすべき（まずは市民へ）。市民が小矢部市をよく知らなくては発展も活性化もありえないのでは。期待しています。 |
| 男 | 60歳代 | 市の魅力発信がほとんどなされていない。氷見市のように市一体になって宣伝やイベントをもっと進められないか？今は、各自治体、企業ともバラバラにやっけてはダメだと思う。 |
| 協働のまちづくり | | |
| 男 | 30歳代 | 市民と行政がともに力を合わせた街づくりの推進のために設けられた市民協働課は、非常に今後の小矢部にとって重要なものであると思います。これを利用して市と市民が一体になって小矢部を運営し、発展させていく、そんな気概でがんばってやっていければと考えます。現在の小矢部の方向性は非常にいいと思います。 |
| 男 | 40歳代 | ケーブルテレビや市のホームページ等、情報発信事業に感心することがあります。情報公開を通じ、さらなる意見の向上につながるように、私自身活用して市政に参加して参りたいと思います。 |
| その他 | | |
| 男 | 40歳代 | 20年後には、2人に1人は65才以上になる。本気になって対応できなければ、市の財政は確実に破綻する。 |
| 男 | 60歳代 | 団塊の世代ですが、今後、福祉も必要ですが若者が地域で増加する方法を考え、幼児の育てやすい市となる様に、10から15年後のビジョンで予算の活用を要望します。 |
| 女 | 50歳代 | 自分が生まれた小矢部市大好きです。クロスランドタワーの横の休憩所や空き店舗、とてももったいない。ギャラリーやライブ会場に使えないのでしょうか？小矢部市役所玄関ロビー（市の顔）暗くて雰囲気が悪い。障害者さんの経営する簡単な喫茶店にしたらどうでしょうか？（杉並区にありましたよ!!）それから城山公園、石動城跡、あんなにすばらしい所なのに小矢部市の人でも行った事がないといわれます。いついっても誰も居ません。観光ボランティアのコースに入っていないと聞いてびっくりしました。コースに入れてもっとPRしてほしいと思います。散居村民泊も遠方の方希望ありますよ。 |
| 女 | 40歳代 | 今の小矢部市は暗いような気がします。とてもかわいいシンボルキャラクター「メルギューくん」のようにもっと明るい小矢部市にしてほしいです。 |
| 男 | 60歳代 | 市民が誇れるシンボル、強み、楽しさ、活力を策定すべき。 |
| 男 | 30歳代 | 小矢部市は、金沢、高岡、富山のいずれの都市にも行きやすい位置にあり、北陸本線上なので便利な町だと思います。ベッドタウンとしてもよいのではないかと思います。しかし、飲食店や商業施設が少ないので、つまらない不便な町でもだと思います。 |